
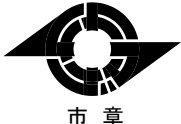
 <p>市長 清水 聖士</p>	<p>千葉県</p> <p>かまがやし 鎌ヶ谷市</p> <p>緑とふれあいのある ふるさと鎌ヶ谷</p>  <p>市の花：ききょう</p>	<p>【データ】 ※平成28年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口：109,415人 ・世帯数：47,447世帯 ・面積：21,08km² ・市の木：もくせい ・市の花：梨の花及びききょう ・特産物：梨、梨ワイン（梨のささやき） 真珠焼（日本で唯一の朱色の焼き物） ・国史跡：下総小金中野牧跡 （江戸幕府が軍馬を安定的に生産・確保するため、下総国（千葉県）北西部に設けた小金牧のうちの一つで、平成19年2月に牧として全国で初めて国史跡として指定）  <p>市章</p>
---	--	--

〒273-0195
千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷二丁目6番1号
鎌ヶ谷市ホームページ
<http://www.city.kamagaya.chiba.jp/>

○ 鎌ヶ谷市の紹介・特徴

鎌ヶ谷市は、千葉県の北西部、北総台地のなだらかな緑の大地の上に広がる総面積21.08平方kmの都市です。市内にはアーバンパークライン（旧東武野田線）、新京成電鉄、北総鉄道、成田スカイアクセス線の鉄道4路線と道路網が発達しており、都心から25km圏内にあることから首都近郊の住宅都市として発展してきました。

鎌ヶ谷市は昭和46年9月1日に人口44,760人を擁して、県下24番目の市となりましたが、その後の着実な人口増加により平成8年には10万人を超え、平成28年4月1日現在で、109,415人となっております。

こうした発展の中にありながら、豊かな農地や緑の環境をもち、梨の名産地としても全国にその名を知られています。

古くから人が居住しており、2万数千年前の旧石器時代からの遺跡があります。中世には城も築造され、江戸時代には幕府直轄の「牧（馬の放牧地）」となり、現在でも国指定の下総小金中野牧跡や野馬土手が残っています。また、現在主要地方道市川印西線



となっている木下街道は、江戸時代に利根川と江戸川の河岸を結んだ要路で、物資の運搬で栄えました。

街道沿いには鉄道の駅名にもなっている鎌ヶ谷大仏が建てられています。

す。

また、平成25年度中に小中学校施設の耐震化率が100%達成となったこと、同年に震災の際に想定されている全避難所の備蓄倉庫整備が完了したことなど充実した防災への備えと併せ、「ゆれにくいまち鎌ヶ谷」として魅力をアピールしております。

○ 鎌ヶ谷市の風景



鎌ヶ谷大仏



市民の憩いの場 貝柄山公園



ファーターズタウン鎌ヶ谷

○ 健康都市の取組み

鎌ケ谷市では平成 14 年度から平成 22 年度まで、「誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会の実現」を目指し、生活の質を向上させる健康寿命の延伸を目的とする健康づくり計画「第一次いきいきプラン・健康鎌ケ谷 2 1」を推進してきました。第一次計画の成果としては、「食事に気をつける人」や「運動する人」の増加、「たばこを吸う人」や「子どものむし歯」の減少など健康づくり意識や行動の向上がみられました。

しかし平成 22 年 4 月 1 日現在、10 年前よりも寝たきりや認知症など要介護状態になる人が 1.9 倍、糖尿病になる人が 1.6 倍になる等、生活習慣病が増え続けています。また、65 歳以上の人口が 21% を超え、第 1 次計画当初の推計よりも早く超高齢社会に突入し、今後も急速に高齢化が進展することが予測されます。

そこで平成 23 年度から平成 32 年度まで、生活習慣病の予防を中心に自殺予防対策や昨今流行が拡大している感染症の予防、また地域医療体制の整備等についても包括する総合的な健康づくりの推進を目指した「第二次いきいきプラン・健康鎌ケ谷 2 1」を策定しました。

第二次計画では第一次計画の見直しを行い、複数の「健康づくり領域」に重なっていた「目標」の整理・再編を行いました。その結果、「健康づくり領域」を 5 つとし、それぞれの「健康づくり領域」ごとに重点対策を設定しました。

【健康づくり領域】

【重点対策】

- ① 栄養・食生活・・・・・・・・・・○食育の推進（食育推進計画）
- ② 身体活動・運動・・・・・・・・・・○気軽に日常生活で運動をする環境づくりの推進
○きらり鎌ケ谷体操の普及啓発
- ③ 休養・こころの健康づくり・・・・○親と子のふれあいを大切にする活動の推進
○自殺予防対策の推進
- ④ 歯と口の健康づくり・・・・・・・・○永久歯のむし歯と歯周病予防の推進
○口からはじめる「食育」の推進
- ⑤ 疾病予防・・・・・・・・・・○生活習慣病予防の推進（特定健診・特定保健指導）
○感染症予防の推進

今後も市民のニーズをより多く聞き、「実現すべき地域での健康な姿」すなわち「めざす姿を市民とともに考え、健康なまちづくりを意識した計画の推進をしていきます。



担当

鎌ケ谷市役所 健康福祉部 健康増進課

Tel 047-445-1390（直通）

Tel 047-445-1141（代表） 内線 729